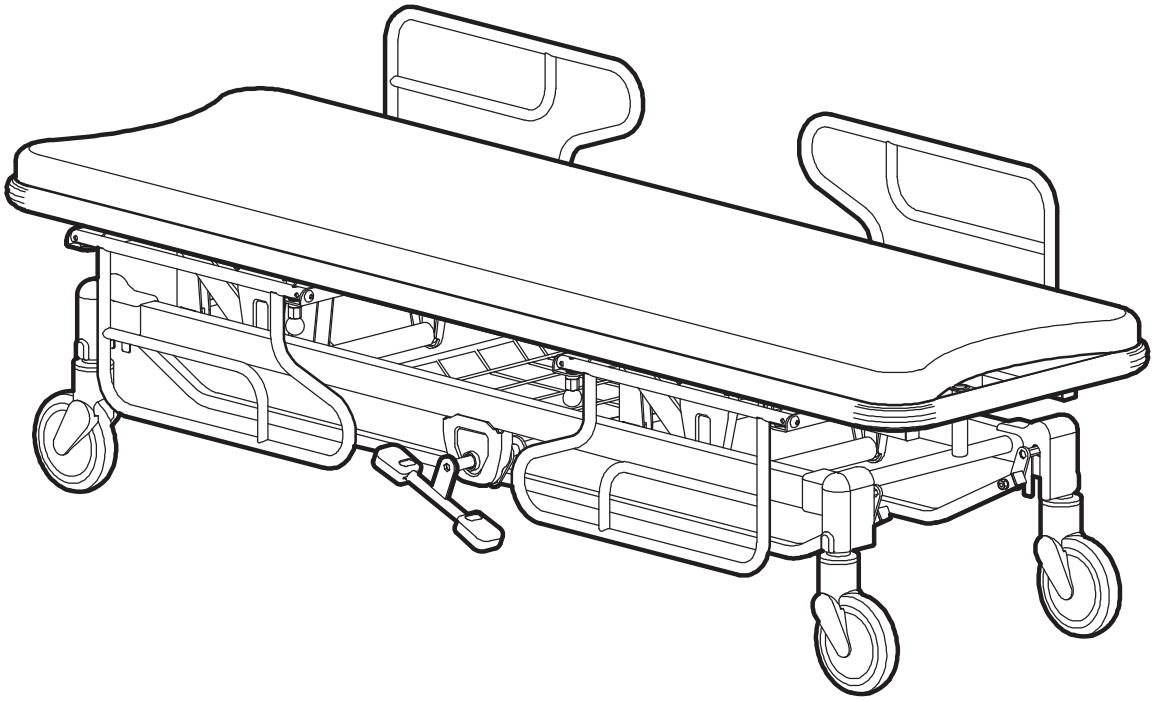
廃盤

Seahonence Bed™

MS - 540TM
電動ハイローストレッチャー 取扱説明書



電動ハイローストレッチャーを正しくお使いいただくためにシーホネンスからのお願い

このたびは、電動ハイローストレッチャー【MS-540TM】をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書にはご使用上の注意事項や操作方法が記載されています。

●ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いください。

●お読みなった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

●ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問合せください。

シーホネンス株式会社

もくじ

はじめに
必ずお読みください

安全にお使いいただくために …… 2〜5
■表示と絵表示について …… 2
■警告内容について …… 3〜4
■注意内容について …… 5
各部の名称 …… 6

とにかく
使ってみる

操作（動作）のしかた …… 7〜9
■手元スイッチを使用する …… 7
■サイドガードの使用方法 …… 8
■酸素ボンベホルダーの使用方法 …… 8
■IVポールの取り付け …… 9
■IVポールの収納方法 …… 9
トータルロックキャスターについて …… 10
■トータルロックキャスターの位置 …… 10
■トータルロックキャスターの操作方法 …… 10
電源部・アクチュエーターについて …… 11
■モーターシステムの構成 …… 11
■グリーンランプについて …… 11

もし
必要なとき

日常のお手入れ …… 12
故障かな?と思ったら …… 12
仕様 …… 13
アフターサービスについて …… 14

安全にお使いいただくために

■必ずお読みください

必ずご使用前に『**安全にお使いいただくために**』をよくお読みになり正しくお使いください。
製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

■表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
〔絵表示の例〕 感電注意	△記号は、警告･注意を促す内容があることを告げるものです。図中の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。
 分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。

電動ハイローストレッチャーのご使用時には、下記の項目の『警告』および『禁止』を必ずお読みください。

注）表記中の(p※)は参照先ページを示しています。

■警告ラベルについて(p2)
■警告内容について(p3～p4)
■注意内容について(p5)

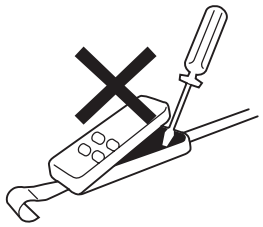
安全にお使いいただくために

⚠ 警 告 以下の項目は、全て危険行為ですので必ず注意事項を守って下さい。
守らなければ人が生命にかかわるけがを負う可能性が想定されます。

●分解、改造はしない

分解禁止

事故、破損の原因となります。
弊社指定の修理技術者以外の方は、手元スイッチや電源ボックスなどを分解したり改造、修理は絶対にしないでください。



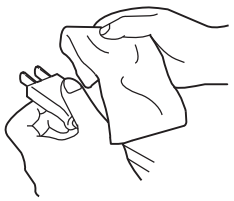
●お手入れは電源プラグを抜いてからしてください

事故、破損の原因となります。
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源プラグの点検

感電注意

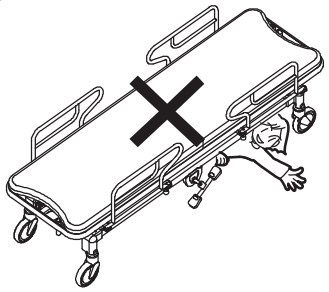
火災、感電の原因となります。
電源プラグを半年に一回コンセントから抜いて、乾いた布で、刃およびその取り付け面を拭いてください。電源プラグにホコリが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁不良を起こしやすくなり、発火するおそれがあります。



●電動ハイローストレッチャーの中やフレームの間にもぐりこまない

警 告

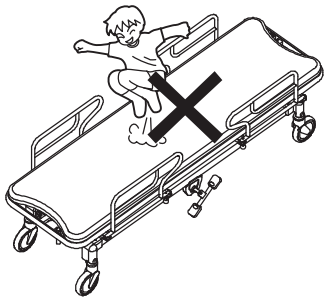
電動ハイローストレッチャーの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドガードとの間に頭や、腕や足を挟むとケガの原因となります。電動ハイローストレッチャーの中にもぐり込んだり、電動ハイローストレッチャーの中に頭、腕や足などを入れないこと。電動ハイローストレッチャーの下や周りに障害物がないか確認して操作してください。



●踏み台代わりにしたり、電動ハイローストレッチャーの上で飛び跳ねない

警 告

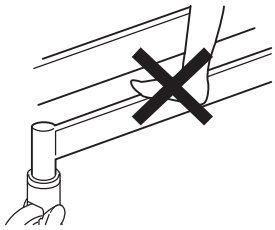
電動ハイローストレッチャーからの転落、転倒してケガの原因となります。特にお子さまにご注意ください。



●足先をベースフレームの上や下に置かない

警　告

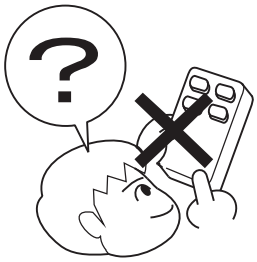
足先を挟んでケガの原因となります。
ベースフレームの上に足をかけたり、足先をベースフレームの下に置いたりしないでください。



●誤操作による事故を防ぐために

警　告

お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合は、手の届かない位置に置くか、手元スイッチをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。



●症状にあわせて使用してください

警　告

医師以外の方が直接電動ハイローストレッチャーを操作される場合は、医師から症状にあった使用方法について十分説明をうけたうえでご使用ください。
症状によっては、電動ハイローストレッチャーの操作が症状を悪化させる場合があります。

●乳幼児には使用しないでください

警　告

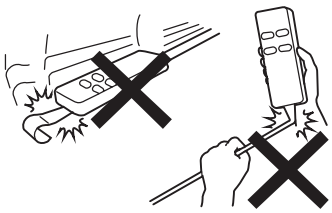
事故、ケガの原因となります。
この電動ハイローストレッチャーは、大人用の設計になっています。乳幼児が使用しますとサイドガード等のすきまに挟まったり、すきまから転落する可能性がありますので絶対に使用しないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 注 意 以下の項目は、全て危険行為ですので必ず注意事項を守って下さい。守らなければ人がケガを負う可能性や物品的損害の発生が想定されます。

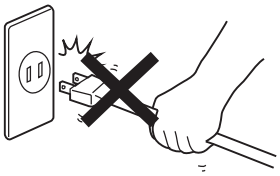
●コードを傷つけない

事故、破損の原因となります。
手元スイッチを落としたり、手元スイッチのコードや電源コードを強く引っ張ったり、電動ハイローストレッチャーを操作する時にコードを挟まないようにしてください。



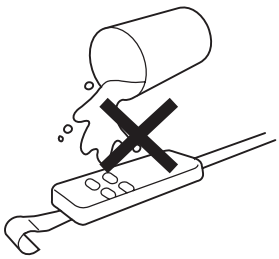
●電源コードを持って抜かない

故障、感電の原因となります。
電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って、引き抜いてください。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



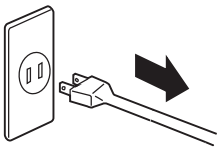
●手元スイッチに水やジュースをこぼさない

感電、事故、破損の原因となります。
手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼさないでください。
万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



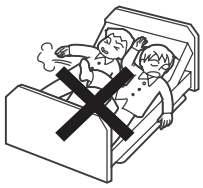
●長時間使わないときは電源プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、必ず、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



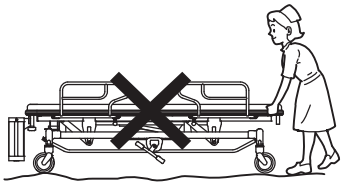
●電動ハイローストレッチャーを二人以上で使用しない

事故、破損の原因となります。
この電動ハイローストレッチャーの最大使用者体重は1350N(135kg)です。

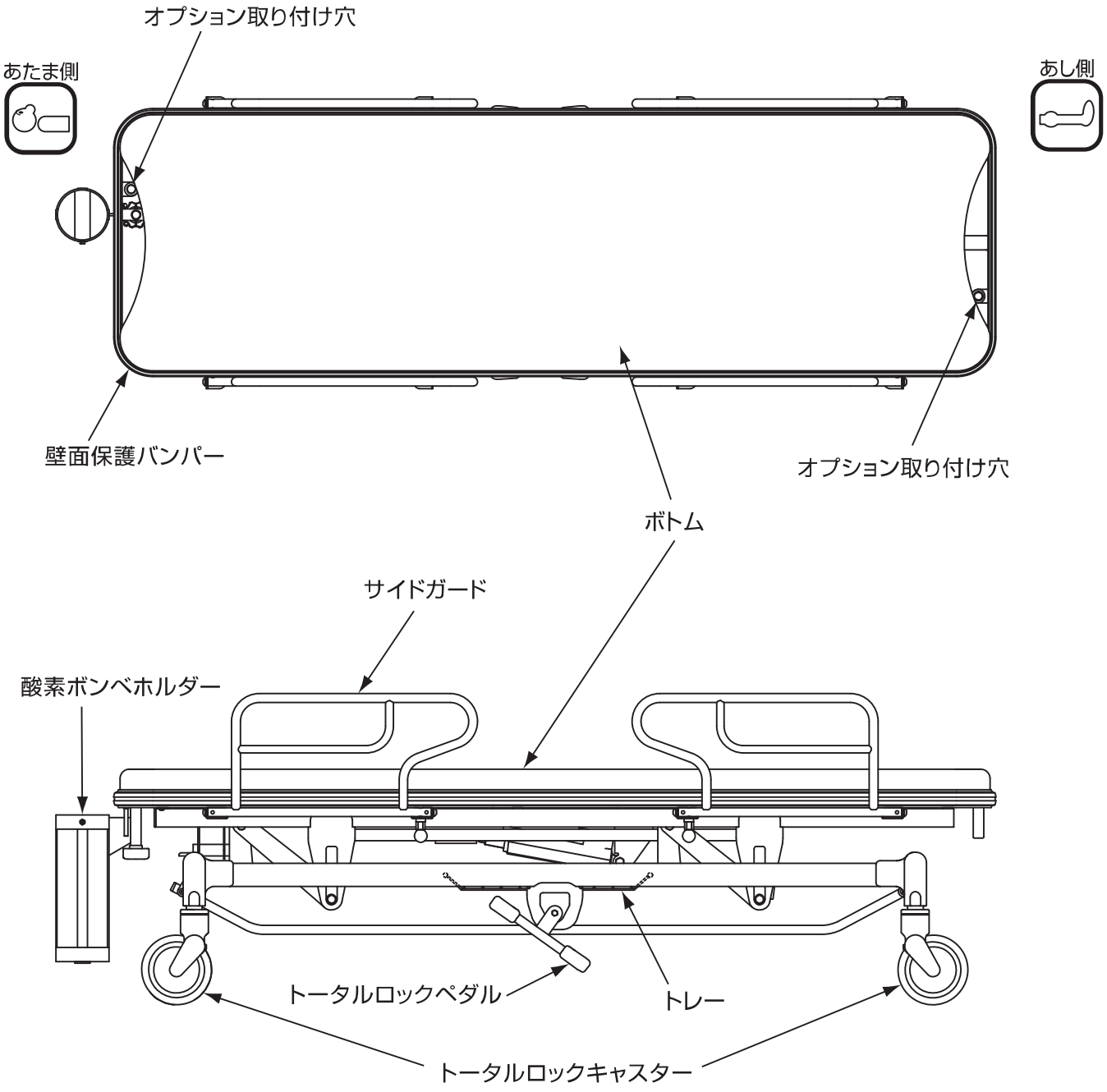


●不安定な路面での移動はさける

事故、破損の原因となります。
凹凸の激しい路面や、段差の大きな路面での移動はできるだけ行わないでください。
もしそのような場所で移動される場合は、ゆっくり移動させてください。

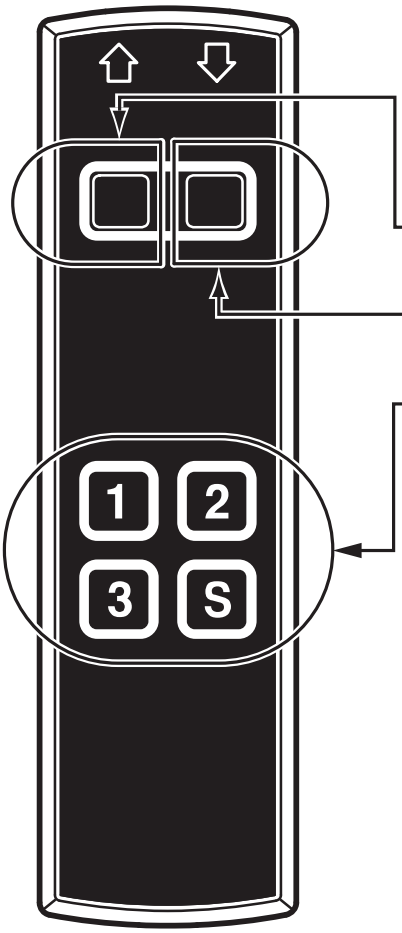


各部の名称


オプション取り付け穴
あたま側
あし側
壁面保護バンパー
ボトム
オプション取り付け穴
サイドガード
酸素ボンベホルダー
トータルロックペダル
トレー
トータルロックキャスター

■手元スイッチを使用する

電動ハイローストレッチャーを操作する前に電源プラグをコンセントに差し込んでください。

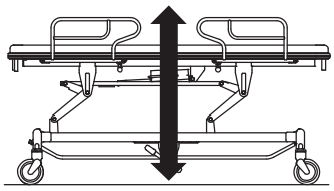


ハイローコントロールボタン

●ハイローコントロールの操作方法

電動ハイローストレッチャーの高さが調節できます。
ゆかからボトムまでの高さを
500～800㎜の間で調節できます。

500～800㎜



このボタンを押すと上がります。
はなすと止まります。

このボタンを押すと下がります。
はなすと止まります。

メモリコントロールボタン

●メモリコントロールの操作方法

電動ハイローストレッチャーの高さをお好みの位置でメモリ(記憶)させることができます。高さは3パターンまでメモリ(記憶)できます。

●メモリのセット方法

①ハイローコントロールで電動ハイローストレッチャーの高さを調節し、メモリ(記憶)させたい位置で停止させます。

②手元スイッチの S ボタンを押します。

③続いて、1 ～ 3 ボタンのいずれか1つを押します。

●メモリ位置への作動方法

1 ～ 3 ボタンのいずれか1つを押します。
それぞれにメモリ(記憶)させた位置まで動きます。

●メモリ作動中の停止方法

手元スイッチのいずれかのボタンを押します。

ポイント

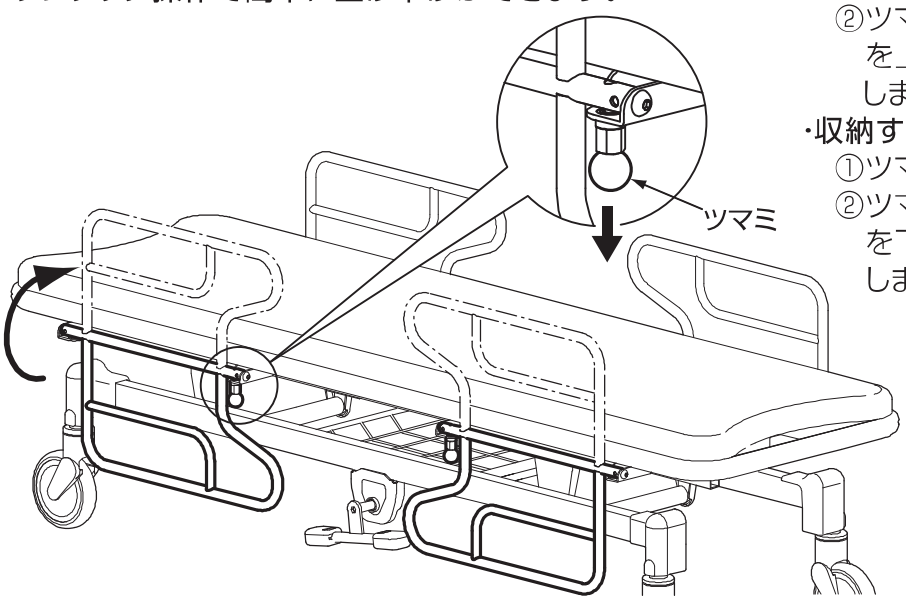
●手元スイッチのボタンを押しても電動ハイローストレッチャーが動かない!!
『故障かな?と思ったら』を参照に点検してください。
それでもなおらなかったら販売店もしくはメーカーまでご連絡ください。

警　告

●手元スイッチを落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
●一度に複数のボタンを同時に押さないでください。
●コードをむやみに引っ張らないでください。
●水やジュースなどの液体をかけないでください。万一液体がかかった場合は必ず電源コードをコンセントから抜いて販売店もしくはメーカーまでご連絡ください。
●移動させる際は、電動ハイローストレッチャーのトレーに手元スイッチを載せてください。コード類は、ある程度束ねてから移動の際に邪魔にならないようにしてください。

■サイドガードの使用方法

電動ハイローストレッチャー本体の左右に、搬送時などの転落事故を防止するサイドガードを備えています。ワンタッチ操作で簡単に上げ下げができます。



●サイドガードの使用方法

・使用するとき

①ツマミを下に引きロックを外します。

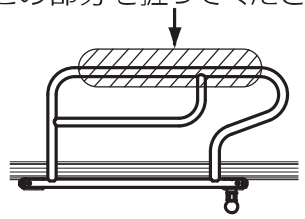
②ツマミを引いたまま、サイドガードを上に回転しツマミを放してロックします。

・収納するとき

①ツマミを下に引きロックを外します。

②ツマミを引いたまま、サイドガードを下に回転しツマミを放してロックします。

サイドガードを回転するときはこの部分を握ってください。



警告

●サイドガードを持っての移動は避けて下さい。
●サイドガードを使用する際には、手や足などを挟まないように注意して下さい。
●サイドガードに寄りかかったり無理な荷重をかけないで下さい。

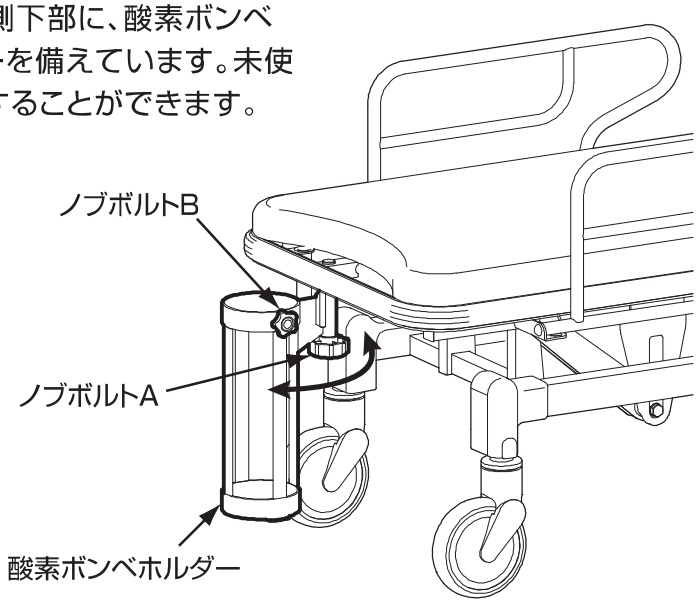
■酸素ボンベホルダーの使用方法

電動ハイローストレッチャーのあたま側下部に、酸素ボンベ500Lを縦方向に装着できるホルダーを備えています。未使用時には本体下部に回転させて収納することができます。

●酸素ボンベホルダーの使用方法

①ノブボルトAをゆるめて、酸素ボンベホルダーを酸素ボンベが差し込める位置まで回転させます。位置が決まったらノブボルトAをしっかりと締めてください。

②酸素ボンベを上からゆっくりと差し込んだら、ノブボルトBをしっかりと締めて、酸素ボンベを固定してください。



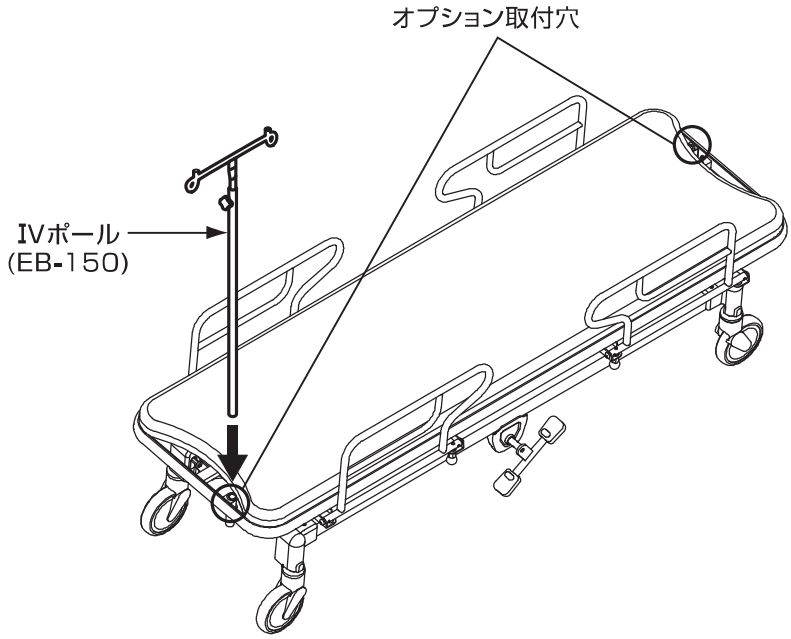
警告

●ノブボルトはゆるまないようにしっかりと締めてください。移動中に抜けると大変危険です。

IVポールの取り付け

電動ハイローストレッチャー本体のオプション取付け穴に、
IVポール(別売り)を取付けることができます。

●IVポール(別売り)は電動ハイローストレッチャーのオプション取付穴(2ヶ所)に、しっかりと奥まで差し込んで使用して下さい。



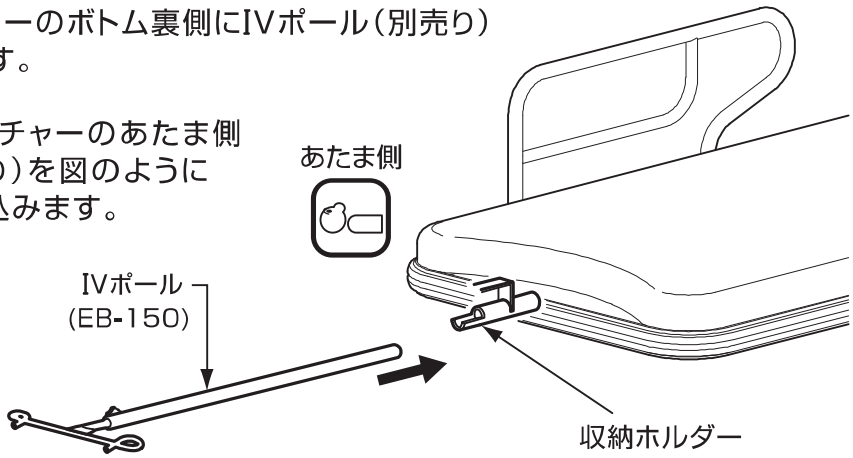
警　告

●IVポールを差し込んだ状態でIVポールを持っての移動は避けて下さい。

IVポールの収納方法

電動ハイローストレッチャーのボトム裏側にIVポール(別売り)を収納することができます。

●電動ハイローストレッチャーのあたま側からIVポール(別売り)を図のように収納ホルダーに差し込みます。



警　告

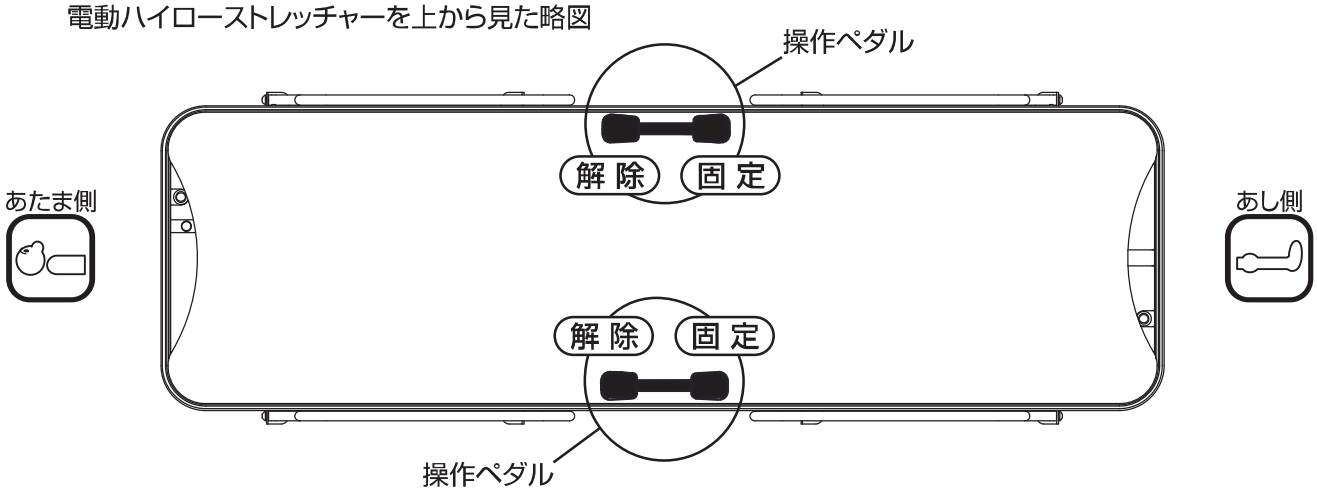
●IVポールを収納するときは必ず奥まで差し込んでください。
電動ハイローストレッチャー本体より飛び出していると、衣服などに引っかかり大変危険です。

トータルロックキャスターについて

■トータルロックキャスターの位置

●トータルロックキャスターの操作ペダルは電動ハイローストレッチャーの両側に1ヶ所づつあります。

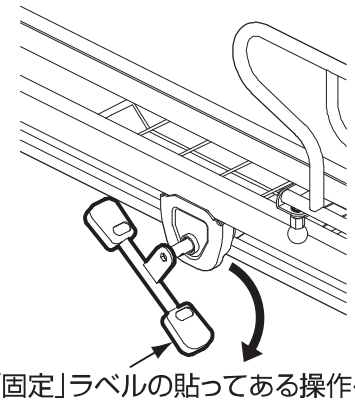
電動ハイローストレッチャーを上から見た略図



■トータルロックキャスターの操作方法

●トータルロックを固定する

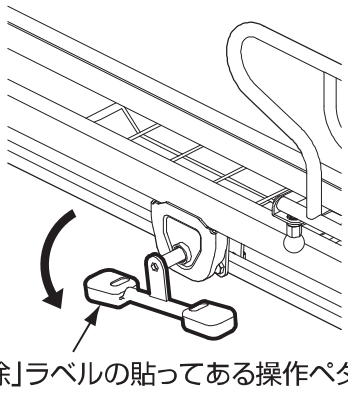
「固定」ラベルが貼ってある操作ペダルを足で矢印方向に踏みおろします。
キャスター4輪とも同時に首振り旋回とタイヤの回転が固定されます。



「固定」ラベルの貼ってある操作ペダル

●トータルロックを解除する

「解除」ラベルが貼ってある操作ペダルを足で矢印方向に踏みおろします。
キャスター4輪とも同時に首振り旋回とタイヤの回転の固定が解除されます。



「解除」ラベルの貼ってある操作ペダル

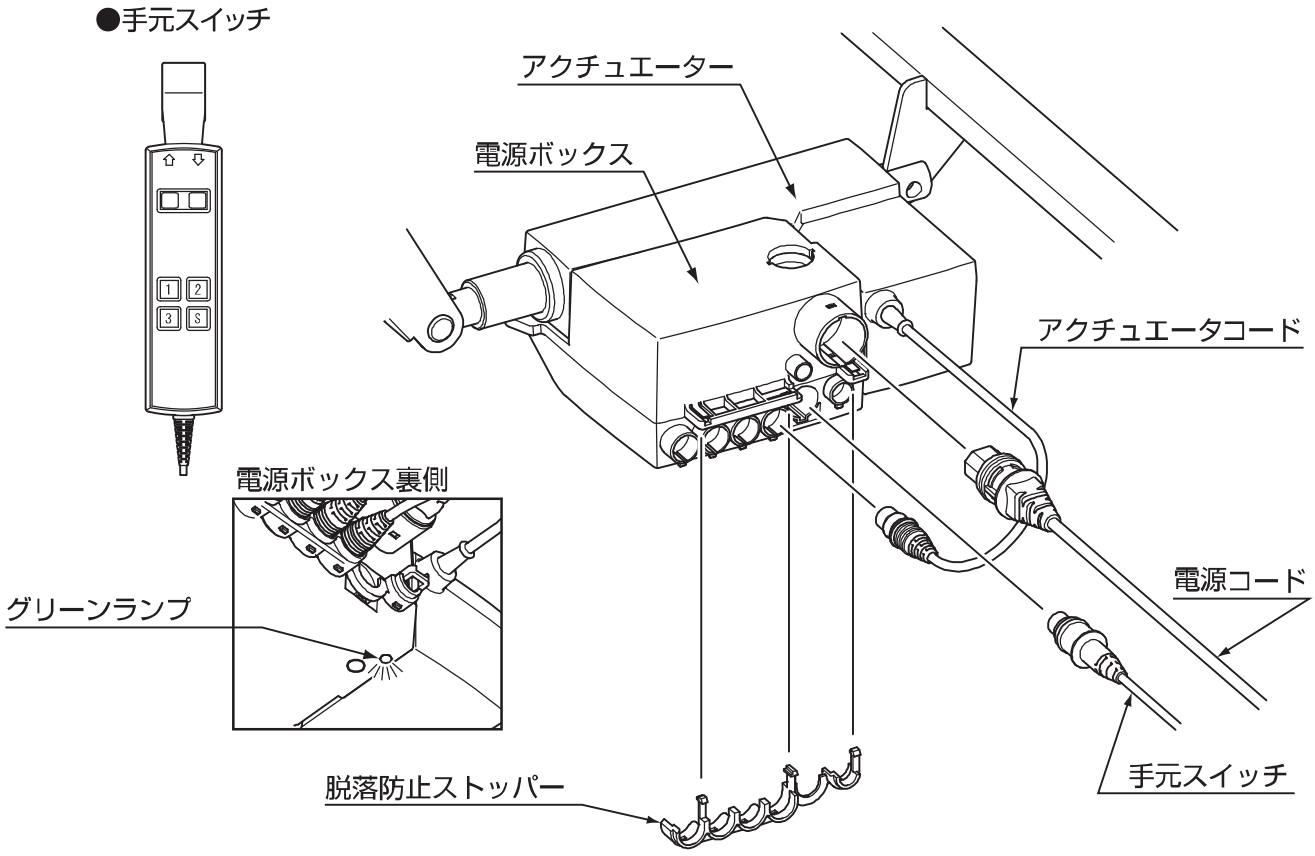
警告

事故、破損、ケガをします。

●移動する際は必ずペダルが解除の位置であることを確認してください。
●電動ハイローストレッチャーを設置する際にはキャスターを固定してください。
●電動ハイローストレッチャーを移動する際、大きな段差や凹凸の激しい路面および廊下での移動は行わないでください。
万一そのような場所で移動される際は、ゆっくりと移動してください。

電源部･アクチュエーターについて

■モーターシステムの構成



■グリーンランプについて

●電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、グリーンランプが点灯します。

ポイント

●電源コードのプラグを差し込んでもグリーンランプが消えている!!
故障の可能性がありますのでベッドの使用をすぐにやめ、販売店にご連絡ください。

注　意

●電源部の半導体が破損し、故障の原因になります。手元スイッチを押したまま電源コードのプラグを抜かないでください。
●手元スイッチや電源部、アクチュエータ部は絶対に分解、改造しないでください。
●使用電源は100V以外では使用しないでください。
●電源コードのプラグは確実にコンセントに差し込んでください。電源部のグリーンランプが点灯しているか確認してください。
●モーターの連続使用時間は6分までです。
6分以上の連続使用は行わないでください。
次に使用する場合は十分に時間をおいて使用してください。

日常のお手入れ／故障かな?と思ったら

■日常のお手入れ

感電注意

事故、破損、ケガをします。
●事故を防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●拭き掃除をする場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞って行ってください。
●その後、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
●洗浄液を使用する場合は下記の薬品を指定の濃度に薄めてご使用ください。

塩化ベンザルコニウム液(オスバン)	0.05%～0.2%
塩化ベンゼトニウム液(ハイアミン)	0.05%～0.2%
クロルヘキシジン液(ヒビデン)	0.05%

注　意

必ず水で薄めた中性洗剤を使うこと。
●揮発性のもの(シンナー、アルコール、ベンジン、アセトン、クレゾール)などは絶対に使用しないこと。本体が変色したり、塗装がはげたりします。

■故障かな?と思ったら

●故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。
それでも直らない場合は、電動ハイローストレッチャーの使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店に修理をご依頼ください。

症　状	チェック	処　置
電源ボックスのランプが消えている	コンセントに電源はきていますか?	コンセントに他の電気機器のプラグを差し込んで、電気がきているか確認してください。
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
手元スイッチを押しても動かない	「電源ボックスのランプが消えている」の項目を確認してください。	
	手元スイッチのコネクターが電源ボックスから外れていませんか?	手元スイッチのコネクターを差し込んでください。
電源プラグが差し込まれているが、電動ハイローストレッチャーが動かない	電動ハイローストレッチャー周辺、可動部に障害物がありませんか?	障害物を取り除いてください。
電動ハイローストレッチャーの移動が出来ない	キャスターがロックされていませんか?	キャスターのロックを解除してください。

■仕　様

	品　　名	電動ハイローストレッチャー
	品　　番	MS-540TM
寸法	全　　長	1900㎜(酸素ボンベホルダー収納時) 2020㎜(酸素ボンベホルダー使用時)
	全　　幅	630㎜
	ボトム長さ	1870㎜
	ボトム幅	550㎜
	高　　さ	500～800㎜(ゆかからボトム面までの高さ)
	キャスター	トータルロックキャスター　車輪径150㎜単輪キャスター
材質	メインフレームの材質と表面処理	鋼鈑および鋼管　抗菌粉体塗装
	ボトムの材質と表面材料	合板およびウレタンフォーム ビニールレザーシート
	壁面保護バンパーの材質	軟質材
ハイロー	駆動方式	アクチュエーター
	調節量	約300㎜
	電　　源	入力　AC 100V 50/60Hz 出力　DC 24V
	消費電力	最大約160W
	連続使用時間	約6分
最大使用者体重/安全使用荷重		135kg(1350N)／1700N(170kg)

アフターサービスについて

1.保証書

この電動ハイローストレッチャーには保証書を添付しています。「販売店・購入日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2.修理を依頼されるとき

故障した際は、お買い上げ販売店もしくはメーカーまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- ●品名、品番
- ●お買い上げ日
- ●故障・異常の内容(できるだけ詳しく)
- ●病院・施設名、お名前、ご住所、電話番号

■修理を依頼される前に

サービスを依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店もしくはメーカーにご相談ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは、下記の保証書をご覧ください。

3.アフターサービスについてご不明な点

お買い上げの販売店もしくはメーカーまでお問い合わせください。

修理・お取り扱いお手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店、
レンタル取次店へお申し付けください。

カスタマーサポートお問い合わせ窓口

フリーコール **0120-20-1001**

シーホネンス株式会社

営 業 本 部
〒577-0067　大阪府東大阪市高井田西5-1-30　TEL 06-6784-0971
© 2006　SEAHONENCE INC.（シーホネンス株式会社）All Rights Reserved.